



学校だより NO. 20
令和3年11月18日
帯広市立広野小学校
文責 校長 新川 和範

Obihiro City Hirono Elementary School



学習発表会へのご来校ありがとうございました



11月12日(金)の学習発表会におきましては、ご多忙の中にもかかわらずご来校いただき、ありがとうございました。3密の回避や児童との直接的な接触を避ける取組を行うなど、感染症対策を講じながら、保護者の皆様に加え学校関係者の皆様もお迎えして開催することができました。

学校関係者の皆様や保護者の皆様には、来校の際、検温や健康状態チェックシートのご記入、承諾書のご提出など、ご理解、ご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。

さて、「笑顔あふれて 楽しい学習発表会！」のテーマのもと、コロナ禍等の現状を踏まえて精選した本校の学習計画に基づき、今まで取り組み培ってきた学習の力を発揮する場として、各学年の成長・発達段階に応じた学習内容をご覧いただく発表会となりました。



児童は、日々の練習から本番に至るまで、相手意識をもちながら、一生懸命に取り組み、立派に発表できたと感じております。

全学年を通してすべての発表をご覧いただくと、低・中学年の保護者の皆様には、お子さんが今後どのように成長していくかが想像できる内容だったと思います。また、高学年の保護者の皆様には、中学校の生徒主体となる文化祭を意識した内容となっていることが、ご理解いただけたのではないかと思います。

今回、体育館で開催するにあたり、保護者の皆様の座席の間隔を広くとるだけでなく、各学級の児童を完全に入れ替えるなどの配慮も行いました。保護者の皆様には、場所によっては観覧しにくいなどご不便をおかけし、大変申し訳なく思っております。

今年度の経験を踏まえ、改善を重ねてまいりますので、ご意見等ございましたら、アンケート等でお知らせください。

次年度以降も、様々な制約を受けながらの開催となると考えられますが、本市の方針を踏まえつつ、できる限りの検討を行ってまいりたいと考えておりますので、引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。





体調管理にご留意を



学習発表会が終了し、ホッと一息の週となりましたが、体調を崩している児童が複数名見られます。日に日に寒くなってきていることや、学習発表会の疲れが出てきていることなどが原因だと考えられます。

改めまして、お子さんへの体調管理のお声かけをいただくとともに、様子を見守っていただくようお願いいたします。合わせて、校内校外の気温差が大きくなってきておりますので、脱ぎ着できる服装や手袋、帽子等の防寒具の準備にご留意いただきますよう、よろしくお願いいたします。



笛舞小学校との交流について



笛舞小学校との交流事業につきましては、前号でもお知らせいたしました通り、50周年式典につきましては12月10日(金)に、児童による交流学习につきましては11月19日(金)に、それぞれ、Web(インターネット)にて開催いたします。

詳細につきましては、近日開かれるPTA三役会上で確認、決定いたしました後、11月24日付文書にてお知らせいたします。地域の皆様や保護者の皆様には、大変ご心配をおかけしておりますが、引き続き、ご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

以上、ご不明な点等ございましたら、広野小学校までお知らせください。



バレエ出前講座



10月25日(月)に、帯広市民劇場運営委員会主催の出前教室として、本江憲子バレエスタジオの先生方にご来校いただき、バレエでの体の動かし方やバレエの衣装、体幹を鍛えるトレーニングなどについて学びました。3、4年生の児童は、はじめは緊張からか動きが硬かったのですが、慣れとともに積極的に体を動かすことができました。



本校の研修が2年連続「準特選」を受賞しました



公益財団法人 公務員弘済会北海道支部 主催の教育論文募集事業において、本校の教育論文が、学校研究の部において2年連続「準特選」に選ばれました。今までの校内研修につきましては、学校便りにてお知らせしてまいりましたが、全職員による継続した校内研修が再び評価され、2年連続の受賞となりました。

今後も、広野小学校児童の学びの環境をより良くする一つの手立てとして、全職員で、組織的かつ本校の特色を生かした研修を進めてまいりたいと考えております。



<お願い>学習の更なる定着を目指して



本校では、児童が学習する内容について、しっかり理解できるよう、校内研修を通じ、授業の改善に努めております。また、毎週火曜日には担任以外の教員が宿題や家庭学習の丸付けを行う宿題相互点検や、月末には復習に重点的に取り組む広野っ子学びチャレンジなど、様々なアプローチで児童の自主性を引き出せるよう、取り組んでいるところです。

さて、脳の中に、学習について理解したものが定着するためには、相応の時間と回数が必要です。そのため、どうしてもご家庭のお力をお借りしなければなりません。

ご多忙とは存じますが、お子さんの家庭学習の様子を見る、取り組んだ家庭学習や宿題に目を通すなど、学習の定着に向けた支援をお願いいたします。合わせて、コメントまでは難しいかもしれませんが、確認した際、サインを書いてあげていただきたいと思います。そのことがお子さんの励みになり、継続した取組、そして定着につながると確信しております。以上、よろしくお願いいたします。